



HPにカラー版を掲載しています  
(毎月1日更新)

## ●水稲の管理 (基幹防除の徹底)

出穂期を迎える8月は、栽培暦を参考に**適期に病害虫の防除**を行うかが、米の品質や収量を低下させないカギとなります。

病害虫の発生情報を意識し、適期防除の徹底をお願いいたします。

### ◆カメムシ対策の徹底

- 近年、夏の気温が高くカメムシ類の発生が増えています。
- 種類により防除タイミングが異なります。

**圃場をよく観察**して、下記を参考に適切な時期に防除を行いましょう。

|  | 被害              | 防除タイミングの目安              |
|--|-----------------|-------------------------|
| イネカメムシ<br>                           | 不稔米・斑点米<br>大幅減収 | 出穂直後 1回目 → 7~10日後 → 2回目 |
| 斑点米カメムシ<br>クモヘリカメムシ<br>ホソハリカメムシ<br> | 斑点米<br>品質低下     | 穂揃期 1回目 → 7~10日後 → 2回目  |

**早生品種は要注意**  
※周囲よりも出穂が早い圃場はカメムシが集まりやすいため防除を徹底しましょう。

### 【農薬例】

※写真の出典: ©2022大分県農業研究部病害虫対策チーム

| 農薬名              | 使用時期     | 希釈倍率       | 使用液量 /10a |
|------------------|----------|------------|-----------|
| スタークル/アルバリン顆粒水溶剤 | 収穫7日前まで  | 2000倍      | 60~150L   |
| キラップフロアブル        | 収穫14日前まで | 1000~2000倍 | 60~200L   |
| トレボン乳剤           |          | 2000倍      | 60~150L   |

カメムシは出穂後に籾を吸汁し**等級低下**や**大幅な減収の原因**になります。発生時や、過去に被害が多い地域では防除を徹底しましょう！



病害虫の発生情報をチェック！

### ◆高温多湿で広がる紋枯病に注意！

- 去年は**紋枯病**の発生が多く、坪枯れ状態になる圃場もありました。
- 毎年同じ場所に出やすいため、**発生歴のある圃場**では注意が必要です。
- 紋枯病予防の箱剤を使っても、天候次第で**追加防除が必要**な場合があります。

| 農薬名        | 使用時期      | 本剤の使用回数 | 希釈倍率       | 使用液量 /10a |
|------------|-----------|---------|------------|-----------|
| バリダシン液剤 5  | 収穫の14日前まで | 5回以内    | 1000倍      | 60~150L   |
| モンカットフロアブル |           | 4回以内    | 1000~1500倍 | 60~150L   |
| モンセレンフロアブル | 収穫の21日前まで |         | 500倍       | 25L       |

※薬剤散布は、収穫前日数と飛散防止に十分ご配慮ください。

# ●大豆の管理

## ◆ 紫斑病防除の徹底

昨年は紫斑病の発生で品質低下を招いている事例が多くありました。要因の1つとして、開花期の8月に雨がほとんど降らず、**莢の伸長が確認できなかったことで、防除適期を逃したことが考えられます。**下記を参考に適期での防除をお願いします。

【発生条件】 幼莢期～子実肥大期に降雨日が多いと感染しやすい。

【防除時期】 **幼莢期～子実肥大期に2回、カメムシ類と同時に防除する。**

### ●主な防除薬剤とタイミング

| 病害虫名  | 農薬名          | 使用倍率       |
|-------|--------------|------------|
| 紫斑病   | ニマイバー水和剤     | 1000~2000倍 |
|       | アミスター20フロアブル | 2000~3000倍 |
| カメムシ類 | スタークル液剤 10   | 1000倍      |
|       | キラップフロアブル    | 2000倍      |

|       | 開花始め  | 開花期   | 莢伸長期 | 子実肥大期 |
|-------|-------|-------|------|-------|
| カメムシ類 | ----- | ----- | ↑    | ↑     |
| 紫斑病   | ----- | ----- | ↑    | ↑     |

## ◆ ハスモンヨトウ発生時の対応

昨年の夏は高温の影響で一時的に虫が少なかったものの、9月に夜温が下がったことでハスモンヨトウが多発し、大きな被害が発生しました。**情報メールなどで最新情報を確認し、**下表の薬剤を参考に早めの防除をお願いします。

| 病害虫名    | 農薬名     | 使用倍率                       |
|---------|---------|----------------------------|
| ハスモンヨトウ | プロフレアSC | 2000~4000倍<br>16~32倍（航空散布） |
|         | グレーシア乳剤 | 2000~3000倍                 |

生育や発生状況に応じて、**防除タイミングを調整してください。**

## ◆ 中耕培土の実施

【中耕培土のメリット】

● 湿害や雑草、倒伏の軽減

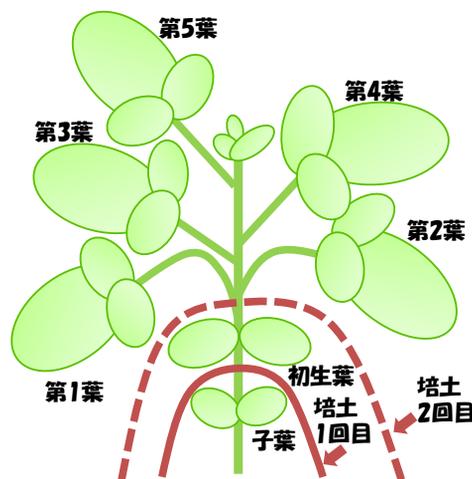
● 大豆の生育を促進

★適切な時期に2回程度行いましょう。

| 回数  | 適期                   | 培土の高さ     |
|-----|----------------------|-----------|
| 1回目 | 本葉2~3葉期              | 子葉が埋まる程度  |
| 2回目 | 本葉5~6葉期<br>(播種後30日頃) | 初生葉が埋まる程度 |

● 2回の実施が難しい場合は4葉期以降、1回で初生葉までを目安に極力高く培土します。

※開花前まで実施できます。



## 農作業中の熱中症にご注意！

令和7年6月から、労働者を雇う農業者にも熱中症対策が義務化され、早期発見の体制整備や対応手順の作成・周知が必要になりました。事務所などに「対応フロー」等を提示し、**現場全体で熱中症時の対応を共有しましょう。**

